

西浦校区コミュニティ協議会だより

電話：73-8641 ファックス：73-8648

平成27年12月1日 第15号



「西浦校区コミュニティ協議会のホームページ」

始良市の各校区のコミュニティ協議会が発足し（16のコミュニティ協議会）、それぞれの校区で活動が始まっていますが、校区を紹介する「ホームページ」が始良市で立ち上がります。（12月の予定）

西浦校区のホームページには、次のような内容で載せてあります。

【校区の歩み・概要】

西浦校区は、日本一の大楠で有名な蒲生町の中心から、北西に約7km離れた標高150mほどの山間部に位置し、松川内・火之宇都・井ヶ屋・社野・西浦団地・西浦下の6自治会からなる。明治23年蒲生村となり、昭和3年から平成22年3月まで蒲生町であったが、加治木町・始良町・蒲生町が合併して始良市となった。

校区の入り口に、関ヶ原合戦の翌年創建の大山祇神社があり、大きな銀杏の木が迎えてくれる。中央を川内と加治木を結ぶ県道42号線が走り、交通量が多い。また地域の中央を流れる2級河川の火之宇都川は、小学校前を流れ、田平川に合流している。火之宇都川沿いには蛍が生息し、毎年初夏の訪れには、目にも鮮やかな夜の舞を楽しませてくれる。冬には漆との境にある484mの明石山に霧がかかり、幻想的な風景を醸し出す。一年を通して野鳥の澄んだ声が集落中に響き渡るなど、豊かな自然環境である。

農林業が盛んで、米・筍・メアサ杉（気温の低い所で育つので、年輪の間隔が詰まって、板目がきれいである。）は特産物である。西浦小学校の体育館は校区の山林から切り出されたメアサ杉で作られており、立派な外観に目を奪われる。

六月燈・夏祭り・十五夜・鬼火焚等の地域行事は、全自治会が協力して実施している。

(1)人口：315人（男147人 女168人）H27.10.29 現在

(2)世帯数：157戸

(3)高齢化率：37.4%(65歳以上)

(4)教育関係：西浦小学校(児童数15人 平成27年現在)

(5)防災機関：上場分団

【史跡】<掛橋坂>江戸時代、藪牟田方面と蒲生を結ぶ年貢米を運ぶ街道であった。全長661mの石畳で、戦後も生活道路として活用された。現在、駐車場が完備され、石畳も歩きやすいように整備されている。

<大山祇神社>神社の入り口に銀杏の大木があり、秋には黄色に色づき、通行する人の目を楽しませてくれる。校区の神社として親しまれ、草取りや清掃は自治会ごとに行い、校区の守り神として大切にされている。春と秋の例大祭は校区コミュニティ協議会が行っている。

【主な施設】<西浦小学校>創立137年目の歴史と伝統のある学校である。児童数は15名。完全複式学級で学習が行われている。

<東洋シャッター工場>校区の東に位置し、シャッターを作成している。

* 「始良市公式ホームページ」 → 「暮らし・手続き」 → 「地域・コミュニティ」で見ることができます。

西浦校区コミュニティ協議会だより

電話：73-8641 ファックス：73-8648

平成27年12月1日 第15号



「西浦校区コミュニティ協議会のホームページ」

始良市の各校区のコミュニティ協議会が発足し（16のコミュニティ協議会）、それぞれの校区で活動が始まっていますが、校区を紹介する「ホームページ」が始良市で立ち上がります。（12月の予定）

西浦校区のホームページには、次のような内容で載せてあります。

【校区の歩み・概要】

西浦校区は、日本一の大楠で有名な蒲生町の中心から、北西に約7km離れた標高150mほどの山間部に位置し、松川内・火之宇都・井ヶ屋・社野・西浦団地・西浦下の6自治会からなる。明治23年蒲生村となり、昭和3年から平成22年3月まで蒲生町であったが、加治木町・始良町・蒲生町が合併して始良市となった。

校区の入り口に、関ヶ原合戦の翌年創建の大山祇神社があり、大きな銀杏の木が迎えてくれる。中央を川内と加治木を結ぶ県道42号線が走り、交通量が多い。また地域の中央を流れる2級河川の火之宇都川は、小学校前を流れ、田平川に合流している。火之宇都川沿いには蛍が生息し、毎年初夏の訪れには、目にも鮮やかな夜の舞を楽しませてくれる。冬には漆との境にある484mの明石山に霧がかかり、幻想的な風景を醸し出す。一年を通して野鳥の澄んだ声が集落中に響き渡るなど、豊かな自然環境である。

農林業が盛んで、米・筍・メアサ杉（気温の低い所で育つので、年輪の間隔が詰まって、板目がきれいである。）は特産物である。西浦小学校の体育館は校区の山林から切り出されたメアサ杉で作られており、立派な外観に目を奪われる。

六月燈・夏祭り・十五夜・鬼火焚等の地域行事は、全自治会が協力して実施している。

(1)人口：315人（男147人 女168人）H27.10.29 現在

(2)世帯数：157戸

(3)高齢化率：37.4%（65歳以上）

(4)教育関係：西浦小学校（児童数15人 平成27年現在）

(5)防災機関：上場分団

【史跡】＜掛橋坂＞江戸時代、藪牟田方面と蒲生を結ぶ年貢米を運ぶ街道であった。全長661mの石畳で、戦後も生活道路として活用された。現在、駐車場が完備され、石畳も歩きやすいように整備されている。

＜大山祇神社＞神社の入り口に銀杏の大木があり、秋には黄色に色づき、通行する人の目を楽しませてくれる。校区の神社として親しまれ、草取りや清掃は自治会ごとに行い、校区の守り神として大切にされている。春と秋の例大祭は校区コミュニティ協議会が行っている。

【主な施設】＜西浦小学校＞創立137年目の歴史と伝統のある学校である。児童数は15名。完全複式学級で学習が行われている。

＜東洋シャッター工場＞校区の東に位置し、シャッターを作成している。

* 「始良市公式ホームページ」 → 「暮らし・手続き」 → 「地域・コミュニティ」で見ることができます。